



河曲地区地域づくり協議会 広報 かわの

令和8年6月30日 第25号



富士山一号墳で発見続く

後円墳頂から小札鋳留衝角付冑

造出から須恵器大壺

小札冑 2月26日、国分町の富士山一号墳から全国的にも発掘例の少ない小札鋳留冑が出土したことが広く新聞報道されました。

3月14日、この珍しい小札冑について博物館主催の現地説明会がありました。右下の印刷物縮小コピーは当日配布されたA3版資料です。

冑は小札鋳留衝角付冑（こさねびょうどめしょうかくつきかぶと）といい、専門機関で保存処理を施したのち、鈴鹿へ帰還とのことでした。

どんな形で戻ってくるのか楽しみです。参考までに国立歴史民俗博物館の所蔵事例なども踏まえて「小札鋳留・冑」と指示してChatGPTに二種のイメージ図を描いてもらいました。

須恵器大壺 次いで3月21日、「伊勢国分寺まつり」のバックヤード探検講座「本物の土器にふれてみよう」では、一号墳の造出（つくりだし）から出た直径55センチ余の黒い須恵器大壺に出会いました。

嬉しいことに、出土したばかりの壺の破片を繋ぎ合せている修復作業室に入室し、国分に生きた

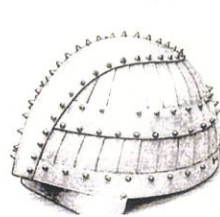


小札冑は墳頂下1メートルから、大壺は造出付近から出土

古墳時代の人々が用いていた大壺を至近距離で「探検」することができました。

大壺と小札冑、いずれも1500年くらい前の営為の塊ですが、発掘現場に立ってみたり、そこから出土した本物の壺に間近かで接してみたりすると、時空を超える一体感を覚えました。

ChatGPT イメージ図



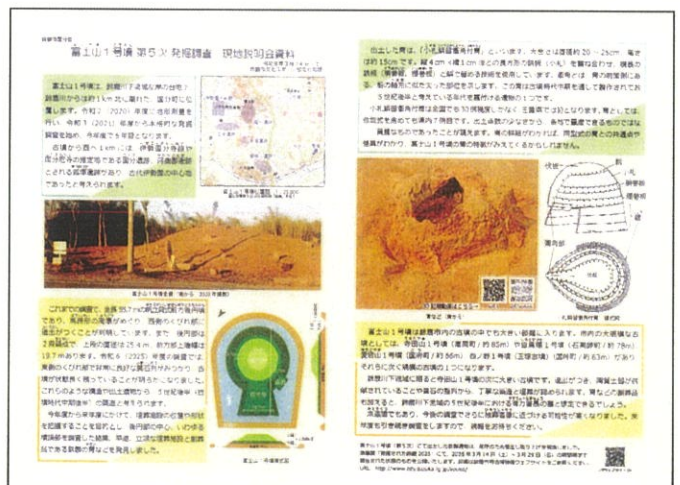
小札鋳留衝角付冑



小札鋳留 三枚綴冑



須恵器の大壺 バックヤード探検講座で見学



現地説明会配付 A3版資料 8.3.14

東日本大震災の教訓を忘れない！ 河曲小で非常食配布 3月11日

3月11日は、東日本大震災の教訓を学び、防災について話し合う「防災意識を育てる日」であり、また、防災用品を贈ることで皆さんの「防災意識を高める日」でもあります。

地域づくり協議会では、毎年この日に河曲小学校の児童と教職員に、防災用の非常食「えいようかん」を配布しています。令和3年3月に始めて以来、今年で6回目となりました。

この「えいようかん」は井村屋製で、常温で5年間保存可能、1本171kcal。カロリーと栄養価も高く、さらにアレルギーの原因となる特定原材料を不使用といった「非常食の定番」として人気のある商品です。



地区センターから学校へ「えいようかん」配付に出発



この日も、12時30分の給食準備前に各クラスの代表児童が正面玄関に集合し、協議会の皆さんから全校児童15学級447人・教職員50人分の「えいようかん」をもらっていました。各学年とも2～3学級編成になっていて、

1年31+31人 2年24+27+26人 3年28+28人
4年31+32+31人 5年39+38人 6年25+27+29人
教職員50人

児童からは、「災害の時の食べものとして、大切にしまっておきます。」「今日は地震のときに何をしたら良いかを勉強しました。」など、御礼を兼ねた感想が聞かれました。

協議会では、地域の皆さんの御理解・御協力を頂きながら、これからも防災意識を高めるためのさまざまな活動に取り組んでいきます。

(年明けから進んでいた地区センターの改修工事は3月上旬に完了、左の写真のとおり綺麗な建物になりました。)

「現代の名工」の技 河曲小 正面玄関の衝立(ついでに)

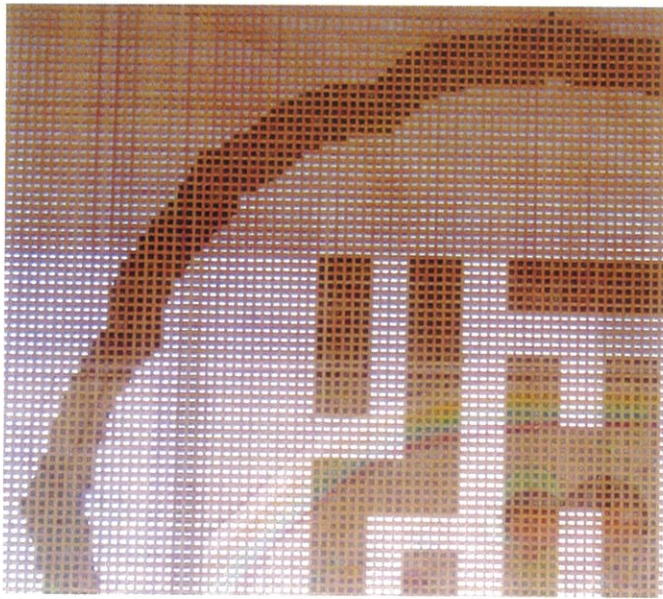
★子供たちに「えいようかん」を配布して、あとかたづけをしていた時、ふと玄関に目をやるとそこには、細かく組み込まれた極く小さな数多くの井組格子の穴から、後ろの校舎の景色が鮮やかに透けて見えるものがありました。それは、全体の形状が神社の鳥居のようにも感じられる重厚で優美な木製の衝立でした。

いつも何気なく見ていた衝立。昔から何となくその存在には気付いていたのですが、この衝立は河曲小学校の景色のひとつとして慣れ親しみ、溶け込んでいる。少なくとも私にはそう感じられ、これはぜひ河曲の皆さんにも、この衝立のことを

知らせたい。それ程に心を動かされました。

調べてみると、この衝立は今から39年前、昭和62年度PTAから学校への寄贈品として設置されたもので、製作は十宮の藤田建具店さんでした。大きさは幅2400mm、高さ2000mm、格子の横列を





成す厚さ4ミリの井組板の数は210枚。縦列のそれは同じく厚さ4ミリ、幅10ミリで180枚。計算すると、約10ミリの四方の細かな格子の数は、なんと37800個！

そして衝立の中央には、「河」を象った縦横約1000ミリの文字と、下部に記された「鈴鹿市立河曲小学校」の文字です。パズルのピースのように、小さな黒色のピースで格子に埋め込んで、文字がかたちどられているのです。

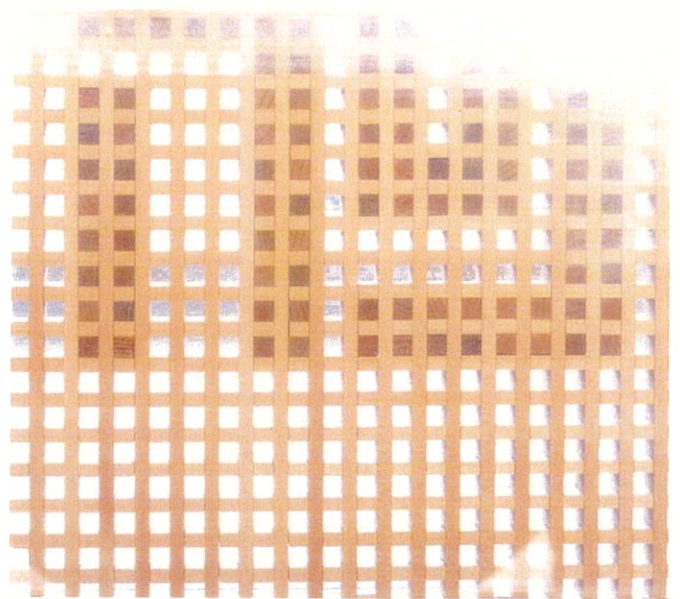
出来たのは、寸分の狂いもなく井形直角に組み込み、前面と背面をガラス2枚で挟み、写真のとおりに、しっかりと木枠に嵌め込んだ風格ある工芸品です。箱根の「寄木細工」のような気品が感じられ、製作者の御苦労が伝わりました。(3.13記)。

★その後、この衝立のことをもう少し知りたくなり、昭和62年度河曲小PTA会長であった野辺の西村優さん宅にお邪魔しました。

西村さんは、「39年も前のことなので記憶が定かでないが、確かにあの衝立は当時6年生の卒業記念として、賞状・トロフィー等を飾る木製の陳列ケースと共に、製作を藤田建具店さんに依頼した。」と懐かしそうでした。さらに続けて、「あの年度は小学校創立100周年を5年後に控え、河曲地区として様々なお祝い事の計画が動き出す初年度だった。それだけに、ぜひともPTAとして、それにふさわしい後世に残るものを寄贈したかった。」と振り返ってみえました。

★ここまで判ってくれば、ぜひ製作者に、との思いに駆られ、藤田建具店の藤田三千男さんにお電話しました。

八十路半ばの藤田さんは、現在は代替わりで息子さんに主業務を譲られています、今も御健在



で、当時の事を明快に教えて下さいました。

藤田さんは、「創立100周年に関係する仕事やから大切に作らせていただいた。衝立中央の『河』の型は、校章を参考に私が下絵を作り、その絵の上に、当時の6年生の子ども達が放課後などの時間を利用して、小さな黒色のピースで格子に埋め込んで完成させていった。『鈴鹿市立河曲小学校』の文字も、同様のやり方で子ども達が埋め込んで作りあげた。」と、懐かし気でした。

★更に特筆すべきは製作費の扱いです。じつは衝立と陳列ケースは、三千男さんの御厚意により材料費のみで工費無償として下さいました。加えて衝立と陳列ケースのガラス附設工程も、令和の今も「西村ガラス店」を営まれている西村優さんが無償で担って下さいました。

この衝立は、故に、藤田建具店さんと西村ガラス店さんの匠の技、そして当時の6年生児童、現在51歳の皆の心が通い合った、創立100周年を迎えるに相応しい「共同作品」でありました。

★藤田さんはそれ迄の功績により平成11年に「木製建具製造工」の職種で「卓越した技能者」すなわち『現代の名工』として厚生労働大臣表彰、更に平成16年には国からの栄えある「黄綬褒章」を受章されています。

(文・白塚山隆彦)



野辺町 組別で集う、競う、助けあう 町内ふれあいフェスティバル

委員101人が第33回フェスティバルに参画

地域づくり協議会の萩会長から「参考のために一度、野辺の‘ふれあいフェスティバル’を見ておいてはどうか」との話があり、好天に恵まれた3月29日、野辺公園に行ってきました。

野辺町は家数470戸、人口1071人、自治会組数16組です。この人的構成で、第33回開催要項に名簿掲載された役員さんは、幹部6名、自警団25名、自治会14名、新旧組長32名、体育委員16名など計101名の大所帯でした。

自主防災隊が運営主体

野辺には活発な自主防災隊があります。災害発生時に対処する自主団体で、上記101名の中から情報班20名、救出救護班17名、消火班25名など計62名が発出する形になっています。

フェスタはこの皆さんが支えて、主目的の防災訓練からはじまり、防災にも通じる競技性を持たせた運動会、そしてなごみふれあいの場としての炊き出し食事会で締め、へと進みました。

幅広い防災訓練体制

主催は野辺自治会ですが、当日は主管として挙がっているPTA、体育委員、民生委員、町民会議、自警団、自主防災隊、消防河曲分団の7団体がそろって一斉に動くのがここの強みです。

8時からの町内広報が初動、9時から一番重要な地区住民の避難申告確認（不在者確認）、ついで消防河曲分団の消防車両展示の脇で、団員の立会のもとに自警団10人が貯水槽から揚水する小



型ポンプ2台を並行させての放水、煙体験ハウス内の通過体験、組長宛の町内消火栓現場での説明会、緊急用除細動器（AED）の使用体験など、単一自治会の域を超えた幅広く密な訓練でした。

玉入れは組単位の競い合い

10時半、運動会の「玉入れ合戦」は組対抗という原則で動いていました。団体競技の大原則は「同人数で」と思い込んでいましたが、ここ野辺では組が競争単位です。ひと組が16人であろうと8人であろうと、「人数制限なし」なのです。古くからの組はもちろん、令和組など野辺に住んで間もない同志でも一緒に汗をかくことで、お互いを知り、次の共助に役立つふれあいが生れます。競技は順位決定戦のお蔭で、各組とも二回は競い合えます。他所では一回きりの団体競技も、ここでは二倍、三倍の汗がかけます。



組のみんなで大卓を囲んで豚汁

ふれあいの典型は炊き出しです。会場には早朝から大きなテーブルが16卓並びます。まず組長が、早朝7時より専従の方が味よく煮上げて待っている巨釜まで出向き、小鍋に貰い請け、皆が待っている組卓に持ち帰り、組員が一同に会したところで豚汁昼食です。災害時にはこのあり方が助け合いの形で活きてきます。



また、小学校までの子ども向けの餅つき体験も行われてました。小さな石臼と小ぶりの杵が可愛いのです。子どもたち同士の友和と、保護者の皆さんの親睦がしっかりと図られていました。

団結する体験を積む

自治会の諸活動の原点は向こう三軒両隣のご近所さんです。普段のふれあいの延長上で、自主防災隊の皆さんと組長が軸になって豚汁を囲むまで、玉入れであれ防災訓練であれ、その時そこに集まった顔なじみの「人数制限なし」の総員が団結する体験を積む。これがここ三十年来、実践されてきています。



災害関連死ゼロを目指した避難生活体験研修

2月11日、鈴鹿医療科学大学の「市民公開講座」で表題に関する講演と体験研修があり、研修での「簡易ベッドの組み立て」が得難い体験になりました。

作業は二種類あって、①小型のダンボール箱4個を中型箱に積み、その中型6個で一人分のベッドにする「暖段はこベッド」にするタイプ、②井型に切り込みのあるダンボール板を長短・大小と組合わせてベッドを作る「Nedoko-dana」タイプ、の2つで。どちらも作業は簡単で、10分足らずで完了しました。

使い勝手では、①の「暖段はこベッド」が小箱の組立てと中型への箱詰めのみで組立て易く、丈夫で、小箱も小物収納に便利、そうでした。Jパックス株式会社製で価格2万円程度と紹介がありました。

②の「Nedoko-dana」は、井形ボード板を互いにキッチリ組み込んで仕上げてます。仕上がりとは使い勝手には違いも感じましたが、小分け収納機能は同じと見ました。タチバナ産業社製で価格1万円程度との紹介でした。



河曲地区地域づくり協議会

令和8年度事業計画、人事等決る

令和8年5月22日午後6時から河曲公民館で令和8年度の組織体制、事業計画等にかかる河曲地区地域づくり協議会総会が開かれました。

会議は萩義彦会長の挨拶のあと、議長に白塚山隆彦さんを選出し、下記6案が審議に附され、全案とも承認されました。

1. 令和7年度事業実施報告

河曲駅自転車駐輪場整理事業から「広報かわの」第24号発行まで23事業について

2. 令和7年度決算書

収入4,871,541円、支出4,474,913円

3. 令和8年度役員

4. 令和8年度事業実施計画

定例16事業等について

5. 令和8年度予算書

収入4,494,535円の配分について

6. 協議会役員等名簿（下欄参照）

これにより令和8年度は、予算総額4,494,535円をもとに事業計画が逐次、実施に移されて参ります。詳しくは以下7～8頁を御覧ください。

なお、今年も内藤洋鈴鹿市副市長を地域づくり協議会のアドバイザーにお迎えします。



令和8年度 役員・委員

役職	氏名	団体
会長	萩 義彦	河曲地区自治会総代会顧問
副会長	田中英敏	神戸交番連絡協議会委員
副会長	松林嘉熙	須賀町自治会顧問
会計	中川 明	河曲地区体育委員会顧問
事務局	松林嘉熙	事務局長
	湯川伸代	事務局員
監事	木林幹治	河田町自治会長
監事	桐生悦夫	国分町自治会長
委員	北川 肇	野辺町自治会長
委員	山際 博	竹野町自治会長
委員	兼丸良政	山辺町自治会長
		河曲地区自治会総代会会長
		河曲公民館運営委員会委員長
委員	除村正明	木田町自治会長
委員	田中正美	大谷町自治会長
委員	遠藤義光	十宮町自治会長
委員	松林 弘	須賀町自治会長
委員	是枝徳義	十宮宮の前自治会長
		河曲地区パトロール隊隊長
委員	柴尾謙一	東十宮町自治会長
委員	黒田良文	西十宮町自治会長
委員	伊藤数馬	南十宮町自治会長
委員	吉永利子	北十宮町自治会長
委員	吉田眞澄	中十宮町自治会長
委員	永戸 豊	ラウムズ鈴鹿かわの自治会長

役職	氏名	団体
各種団体	大西真人	河曲小学校校長
各種団体	木村博昭	河曲小学校PTA会長
各種団体	市川善浩	神戸中学校校長
各種団体	伊藤賢泰	神戸中学校PTA会長
各種団体	野田栄一	河曲地区民生委員児童委員会会長
各種団体	山口和弘	河曲地区体育委員会会長
		学校体育施設解放運営委員長
各種団体	西村善行	鈴鹿市消防団河曲分団長
各種団体	酒井清春	河曲地区農業委員会会長
各種団体	松本衛一	河曲地区防犯委員会委員長
		神戸交番連絡協議会委員
		三重県安全安心まちづくり地域リーダー
各種団体		河曲地区青少年育成町民会議会長
参与	武野菊生	
参与	白塚山隆彦	
参与	棚瀬研一	
参与	林 秀樹	
参与	原田孝樹	
アドバイザー	内藤 洋	鈴鹿市副市長

令和7年度河曲地区域つくり協議会 決算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

収入の部		支出の部	
収入の部	項目	支出の部	項目
前年度繰越金	0	地域つくり協議会補助金	3,314,142
市一括交付金	2,000,000	運営費	1,744,207
基本額		各団体への派遣・学校運動会補助金	204,788
		同上 公民館運動会補助金	99,288
		同上 公民館運動会補助金	20,000
		同上 体育委員会補助金	50,000
		東日本大震災の日	67,612
		広域経済行	273,856
		職員購入費	808,040
		予備費	45,716
		印刷代	1,804
		通信運搬費	1,080
		食費	4,043
		固定公費事業	30,000
		河曲分館運営大会出展助成金	0
		地区行事等補助金	50,000
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		運動会・福祉活動補助金	50,000
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		役員報酬	40,000
		各種団体へ一括交付	560,000
		公民館運動会補助金	354,000
		体育委員会	143,000
		青少年育成委員会	63,000
		民生委員会（川口地区福祉活動補助金）	0
		事務局費	1,009,935
		事務経費	
		事務経費前払	871,200
		（7月～7月）電話使用料	94,557
		事務用品	25,020
		備品	0
		水道光熱費	18,158
		小計	3,314,142
前年度繰越金	510,392	項 目	決算額
考古博物館除算	769,620	考古博物館除算	848,740
委託料 120,000×4回 R7（4回分）		弁当、機材使用料、消耗品	599,220
処分料 151,800		処分料	151,800
保険料 137,720		保険料	137,720
市 委託料 175,117		河曲駅自転車整理事業	163,365
委託料 137,720		（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
河曲駅自転車整理事業	86,096	（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	88,121	（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
まちづくり助成補助金	0	富士山一号墳	0
		区分自治会	0
雑収入	102,370	雑費	0
河曲市資源ごみ助成金	2,180	考古博物館	0
委員会（資源ごみ回収）	0	予備費	148,696
河曲地区自治会総代会	180	予備費	128,914
河曲地区自治会総代会	100,000	通信運搬費	2,970
資源ごみ処分収入	0	運送費	582,174
		役員報酬外費	0
		一括交付金	13812
小計	1,557,399	小計	1,160,771

令和8年度河曲地区域つくり協議会 予算書

令和8年4月1日～令和9年3月31日

収入の部		支出の部	
収入の部	項目	支出の部	項目
前年度繰越金	396,628	地域つくり協議会補助金	3,100,000
市一括交付金	2,000,000	運営費	1,503,000
基本額		各団体への派遣・学校運動会補助金	390,000
		同上 公民館運動会補助金	100,000
		同上 公民館運動会補助金	20,000
		同上 体育委員会補助金	50,000
		東日本大震災の日	90,000
		広域経済行	300,000
		職員購入費	150,000
		予備費	130,000
		印刷代	20,000
		通信運搬費	5,000
		食費	8,000
		固定公費事業	100,000
		地区行事等補助金	50,000
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		運動会・福祉活動補助金	50,000
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		（地区・団体・個人・団体・個人）	
		役員報酬	40,000
		各種団体へ一括交付	497,000
		公民館運動会補助金	354,000
		体育委員会	143,000
		青少年育成委員会	0
		民生委員会（川口地区福祉活動補助金）	0
		事務局費	1,100,000
		事務経費	
		事務経費前払	871,200
		（7月～7月）電話使用料	96,000
		事務用品	72,500
		備品	0
		水道光熱費	60,000
		小計	3,100,000
前年度繰越金	396,628	項 目	本年度予算
考古博物館除算	717,720	考古博物館除算	737,720
委託料 120,000×4回 R7（4回分）		弁当、機材使用料、消耗品	500,000
処分料 100,000		処分料	100,000
保険料 137,720		保険料	137,720
市 委託料 180,187		河曲駅自転車整理事業	167,903
委託料 137,720		（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
河曲駅自転車整理事業	89,530	（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	90,657	（1023×528×11×1780×16A（R7年度）	
まちづくり助成補助金	0	富士山一号墳	0
		区分自治会	0
雑収入	100,000	雑費	0
河曲市資源ごみ助成金	0	考古博物館	0
委員会（資源ごみ回収）	0	予備費	488,912
河曲地区自治会総代会	100,000	予備費	478,912
河曲地区自治会総代会	0	通信運搬費	10,000
資源ごみ処分収入	0	役員報酬外費	0
		一括交付金	0
小計	1,394,535	小計	1,394,535

*予備不足のときは、各科目の流用を認める

河曲地区自治会総代会 令和8年度 総会開催

5月8日午後、地区センターで開催された自治会総代会総会は兼丸良政会長の挨拶で始まり、前年度会計決算、後援会決算、事業積立金、役員、新年度会計予算、同後援会予算など6案件の審議があり、いずれも承認されました。令和8年度の会長以下各体担当役員は次の方々（敬称略）です。

会長 兼丸良政（山辺）
 副会長 桐生悦夫（國分） 松林 弘（須賀）
 会計 永戸 豊（ラウムズ鈴鹿かわの）
 監事 木林幹治（河田） 黒田良文（西十宮）
 消防分団 吉永利子（北十宮） 田中正美（大谷）
 体育委員会 山際 博（竹野） 柴尾謙一（東十宮）
 公民館 是枝徳義（十宮宮の前 常任委員）
 除村正明（木田 副委員長）
 吉田眞澄（中十宮 監査） 遠藤義光（十宮 監査）
 小学校運営協議会 伊藤数馬（南十宮）
 学童かわたろう 北川 肇（野辺）
 顧問 萩 義彦（野辺）

会計関連で令和7年度総代会の会計収支決算は、
 収入139万947円 支出72万6250円

令和8年度繰越 66万4697円

令和8年度の総代会会計予算は、

収入116万5000円

繰越金66万4697円、補助金50万0000円、雑収入303円

支出116万5000円

会議費11万5000円、慶弔費1万0000円、雑費4万8000円、

視察補填費36万0000円、役員実費弁償費9万0000円、

予備費54万2000円

このほか総代会後援会会計予算691万1000円、事業積立金542万969円により今年の活動が進められます。

人 事 異 動

○4月1日付

益倉良子さん 河曲公民館主事に着任

○4月1日付

西脇光紀さん 白子公民館主事に転任

令和7年度 地域づくり協議会 事業実施報告

07.04.01 河曲駅自転車駐輪場整理業務開始
 07.05.01 役員会開催
 07.05.20 役員会開催
 07.05.23 総会
 07.06.07 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 07.06.20 広報誌「かわの」第21号発行
 07.07.19 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 07.07.26 小学校運営協議会主催ラジオ体操を共催
 07.08.02 小学校運営協議会主催ラジオ体操を共催
 07.08.22 第3包括圏域 地域ケア圏域会議 役員参加
 07.08.25 役員会開催(防災訓練について)
 07.09.20 広報誌「かわの」第22号発行
 07.10.19 体育委員会主催第40回河曲スポーツフェスタを共催
 07.10.25 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 07.11.16 地区内一斉防災訓練
 07.12.20 広報誌「かわの」第23号発行
 08.01.19 役員会開催
 08.02.19 第3包括圏域 地域ケア圏域会議 役員参加
 08.02.21 公民館運営委員会主催の
 ～02.22 サークル展示・発表会を共催
 08.03.07 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 08.03.11 小学校防災給食
 08.03.19 役員会開催
 08.03.20 広報誌「かわの」第24号発行
 08.03.21 伊勢国分寺まつり

令和8年度 地域づくり協議会 事業実施計画

08.04.01 河曲駅自転車駐輪場整理業務開始
 08.05.22 総会
 08.06.13 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 08.06.30 広報誌「かわの」第25号発行
 08.07.18 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 08.07.25 小学校運営協議会主催ラジオ体操を共催
 08.08.01 同上 夏休みラジオ体操を共催
 08.09.27 地区内一斉防災訓練
 08.09.30 広報誌「かわの」第26号発行
 08.10.一 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 08.10.18 体育委員会主催 第40回河曲スポーツフェスタを共催
 08.11.07 公民館運営委員会主催の
 ～08 サークル展示・発表会を共催
 08.12.28 広報誌「かわの」第27号発行
 09.02.一 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草
 09.03.11 小学校防災給食
 09.03.一 歴史公園事業
 09.03.30 広報誌「かわの」第28号発行
 *その他、必要に応じ役員会等を開催。

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』 第25号 令和8年6月30日 発行
 発行責任者 地域づくり協議会事務局長 松林嘉熙
 事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電059-390-1295